



1年学年だより

発行日：平成30年4月27日（金）

発行者：横浜市立南高等学校附属中学校

学校長：磯部 修一 NO. 1

平成30年度を迎えて

校長 磯部 修一

4月6日、しだれ桜に迎えられ新入生160名が入学しました。1年生のクラスに授業を見に行くとあいさつが気持ちいいです。2年に進級した6期生は先輩として新入生を面倒見てあげてほしいものです。最上級生となった5期生は南高附属中をしっかりとリードしてください。

生徒たちは新年度を迎えて、気持ちを新たにして真剣に授業に取り組んでいます。そして職員も勉強しています。4月16日（月）に本校の学校経営アドバイザーである横浜国立大学名誉教授高木 展郎先生をお招きして、「新学習指導要領と中高連携、高大接続」というテーマで中高合同の研修会を行いました。当日の高木先生の講演資料で示されていたことの一部をご紹介します。

○大学入学者選抜においては、高等学校学習指導要領に基づいて育成された資質・能力をよりの確に評価する必要がある。

○高大接続については、それを推進するために、大学入学共通テストにおいて、言語活動を通じて育成された資質・能力を的確に評価することが重要である。特に、記述式問題を導入し、より多くの受検者に課すことで、高等学校での授業が「主体的・対話的で深い学び」に向けて改善される。

この「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善は、中学校の新学習指導要領でも同様に示されています。つまり中高共通の視点で授業改善を図っていくことが求められています。

今回の研修会では、高木先生の講演の後、高校の教育課程担当の先生から大学入学共通テスト導入に向けた当面のスケジュールや試行テストの状況、自校における授業改善の進め方などが説明されました。そして最後は、中高合同の教科会を行い6年間を見通した学習指導等について話し合いました。

このように中学校の職員も高校と合同の研修で大学入試の動向や高校での学習について理解を深めています。今年度も、南高・南高附属中に入学した生徒が、社会に出てから生かせる資質・能力を身に付けることができるよう中高連携して授業改善を図ります。

各学級、教科の先生を紹介します！

中学校では、教科ごとに授業を担当する先生が変わります。そのため、各教科をより専門的に深く学ぶことができます。

また附属中学校では、中学校の先生方のほかにも、高校の先生方にも授業を担当していただいています。そして、教科学習だけでなく、EGG や委員会、部活動などでも、たくさんの先生方や職員の方々が、7期生の成長に関わってくださいませ。(南高校および附属中学校には約 100 人の先生方・職員の方々がいらっしゃいます！)校内で出会う中学校、高校すべての方に、みなさんから、元気に何度でもあいさつをしましょう。

※1 斜体字は高校の先生です。

※2 英語と数学は2クラスを3グループに分けて、少人数で学習します。

| | 1組 | 2組 | 3組 | 4組 |
|------|--|--|--|---|
| 担任 | 山形 拓也 | 中山 優 | 古谷 佳代 | 古谷 知農 |
| 副担任 | 小野寺 啓司 | 朝比奈 康江 | 小野寺 啓司 | 寒川 浩 |
| 国語 | 齋藤 若菜 | 朝比奈 康江 | 朝比奈 康江 | 朝比奈 康江 |
| 社会 | 山形 拓也 | 山形 拓也 | 山形 拓也 | 山形 拓也 |
| 数学 | 古谷 知農 中山 優 川崎 慎吾 | 中山 優 川崎 慎吾 | 中山 優 古谷 知農 川崎 慎吾 | 古谷 知農 中山 優 川崎 慎吾 |
| 理科 | 寒川 浩 | 寒川 浩 | 寒川 浩 | 寒川 浩 |
| 音楽 | 芳賀 裕子 | 芳賀 裕子 | 芳賀 裕子 | 芳賀 裕子 |
| 美術 | 前田 純治 | 前田 純治 | 前田 純治 | 前田 純治 |
| 保健体育 | 小野寺 啓司 間宮 英美 原 悦子 | 小野寺 啓司 間宮 英美 原 悦子 | 小野寺 啓司 間宮 英美 小柳 友洋 | 小野寺 啓司 間宮 英美 小柳 友洋 |
| 技術 | 大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫 | 大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫 | 大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫 | 大越 重信 太田 壮司 佐野 和夫 |
| 家庭 | 松島 律 島袋 十和子 | 菊池 智美 島袋 十和子 | 菊池 智美 松島 律 | 菊池 智美 島袋 十和子 |
| 英語 | 古谷 佳代 梶ヶ谷 朋恵 平石 寛子 今西 由美子 Dustin Cassidy | 林 佳子 梶ヶ谷 朋恵 古谷 佳代 徳永 上総 今西 由美子 Dustin Cassidy | 古谷 佳代 林 佳子 徳永 上総 西尾 彩 Dustin Cassidy | 梶ヶ谷 朋恵 古谷 佳代 林 佳子 西本 かなこ 西尾 彩 Dustin Cassidy |

7期生、PAAに行ってきました！

4月12日（木）7期生は、プロジェクトあしがらアドベンチャー（PAA）に行きました。

当日は天気にも恵まれ、絶好のPAA日和となりました。入学式から1週間、緊張が続いていたみなさんでしたが、バスの中から元気いっぱい、楽しいスタートとなりました。

足柄では豊かな自然の中、ファシリテーターの方々とともに、仲間と協力しなければ解決できないアクティビティに挑戦していきました。

PAAの合言葉は『本気で、みんなで、安全に、話す、聴く』。うまく出来ても出来なくても、みんなで声をかけ合い、仲間を思いやり、協力して取り組みました。気づきの言葉を書きためた「BEING（みんなの手形で縁取られた模造紙）」は、今も各クラスに掲示してあります。南高附属中学校生活の大きな第一歩となりました。



1組☆ クラスの仲間と一緒に考えて、活動して、笑ったのが印象に残っている。PAAの活動の中で、仲間と協力するときの工夫を考えることが大切だと学んだ。やりながら、かけ声やアドバイスなど、声を出してやると気持ちがそろってうまくできることが分かった。全員本気になって達成しようと協力して活動しているのが、とても楽しかった。

1組☆ これまで話したことのなかった友達と話せるようになった。みんなで協力して、始めは出来そうになかったことが、出来るとすごくうれしかった。なかなかできないことも、時間がかかってしまうほど、出来たときの達成感は大きかった。PAAを通して協力の大切さを学んだ。これからももっと友情を深めていきたいと思う。

2組☆ PAAの前までは、勇気が出せず、お弁当の時間は無言でつまらなかった。「どの小学校なの？」「同じ学校から南附中に受かった人いる？」聞きたいことはたくさんあるのに、なぜか言えなかった。だが、PAAの日はまだ話したことの無い友達と明るく話すことができた。「静かな子」と思い込んでいた子は、話してみると実は元気な明るい子だったということが分かった。ドンマイなどと声を掛け合えていて良かった。

2組☆ PAAに行く前は、出席番号が近い人など、一部の人としか話したことがありませんでしたが、PAAの後では男女問わずたくさんの人と話せるようになりました。

私は最初にみんながニックネームをつけたことから PAA が始まったのだと感じました。普段みんなの名前を何と呼ぶのかを考えると緊張してしまうので、自分から言ってもらえるのはとてもよかったです。名前を呼ぶのに慣れると、互いに指示が言いやすく、自分も反応しやすくなりました。

ビー玉をバケツの中に入れるゲームでは、何回も途中で落としてしまい「本当にできるの？」と不安になりましたが、誰もあきらめずにやって「ナイス」と声を掛けた時にはとてもうれしかったです。

3 組☆ PAA は人と協力して思いやらなければできないので、人を思いやり協調して一緒にものごとを達成するという力がついたと思う。みんなと協力して、丸太の上で移動する活動がクリアできてとても嬉しかった。また、ミッションを行ったことで、みんなの豊かな人間性がわかり、おもしろくて楽しいクラスになったんだと思った。

3 組☆ PAA の活動の中に、丸太を使ってする活動があり、その時にみんなと協力したのが楽しかったし、みんなと協力することが大切だと思いました。また、いろいろな活動を本気でやったので、みんなと知らない間にたくさん話すことができ、仲が深まりました。その他にも男女関係なく、誰とも関わったり、初めはできなかったけれど、自分の考えを伝えたり、スタッフの方々の話を最終的には聞けるようになったのでよかったです。

4 組☆ ぼくはこの PAA を思った以上に楽しむことができた。最初はまだ慣れないクラスで不安もあったが、最後にはみんな笑顔になり、おもしろかった。PAA はすごいなと思った。最初は絶対無理でしょと思っている課題でも、やっていくうちにヒントがあり、そこから少しずつ成功の道が見えるからだ。ザヒーなど何も言わない。みんなアイデアを出し合い、一から成功までの道を作り上げるのだ。だからこそ、成功した時の喜び、嬉しさは限りなく大きなものになるのだ。とても大変で、最後には声もかかれていたが、みんなと作り上げた PAA はとても良い思い出になった。

4 組☆ PAA の中で仲間とたくさん協力していく間に、いろいろな人と自然と話ができるようになって、昼食後には鬼ごっこをして遊ぶなど、とても楽しい一日を送れました。それまで、あまり交流できなかったグループの人ともバスなどで話すことができ、多くの友達ができました。この活動を通して協力することの楽しさや、自分から話しかけて友達になったときのうれしさを感じました。



姫のひとりごと ～学年主任より～

7 期生の南高附属中学校生活が始まりました。入学してからの 3 週間は、授業が始まっただけでなく、PAA や EGG、学力推移調査、部活動オリエンテーションと中身の濃い日々でした。

EGG 学習会では、講師の先生方を招いての珠算教室が、計 8 回予定されています。珠算によって、集中力や発想力・ひらめきが身につくとされています。また、EGG 体験では、高知大学教授の鹿嶋真弓先生による「構成的グループエンカウンター研修」で、生きていく上で大切なコミュニケーション力を身につけるための活動を行いました。

何事も素直な気持ちで一糸懸命取り組むことで、得られることがたくさんあります。これから 7 期生が、みんなと楽しみながら成長していくことを先生たちは応援しています。

お知らせ 5 月 2 日 (火) 授業参観・教育課程説明会・部活動顧問紹介・カナダ研修旅行積立金説明会を行います。副教材の集金も同時に行います。